

令和 5 年度 卒業式式辞

卒業生の皆さんにお祝いを申し上げます。長い学びの道のりを乗り越えて、この日を迎えられることを讃えます。そしてご家族、保護者の皆さまにも深く感謝申し上げます。

卒業は一つの区切りですが、新たなステージへのスタートでもあります。皆さんはここで得た知識や経験を、これからの人生の中で生かしていくことでしょう。

豊多摩高校は、多様な教育プログラムや活動を通じて、皆さんの成長と夢を支えてきました。高校生活を通じて培った自己肯定感や課題解決能力は、将来大きな武器となるでしょう。視野を広げ、常に新たな知識やスキルを学び続けることで、自分の成長や社会の発展に寄与していきましょう。未来への道は必ずしも一直線ではなく、時には曲道や試練があることも覚悟してください。しかし困難に立ち向かうことこそが成長や成功につながるのです。自信を持ち、信じる力をもち続けてください。

あなたたちは限りない可能性を秘めた若き才能です。自分自身と向き合い、夢を叶えるために努力し続けてください。そして、豊多摩高校での学びが生涯の宝となり、社会で活躍する素晴らしい人材となることを期待しています。

…と、ここまで聞いて、いつもの校長と違うぞ！と思った人は、どのくらいいますか？一応、まともではいるのですが、何やら文言が不自然だったり、言いたいことが無難すぎたりして何も伝わってきません。

種明かしをします。実は、先ほど読んだものは、Chat GPT に「豊多摩高校卒業式の校長式辞を考えてください」と入力して得られた回答です。

さて、AI が急速に発展し、社会が大きく変化しています。将来多くの職業がなくなってしまうと言われていています。校長もただ挨拶するだけの存在なら、こうして AI がそつなくなしてくれるのかもしれませんが。校長の挨拶なんて、あればいいなどというニーズにはいとも簡単に応えてくれるでしょう。

AI は、あたかも万能のように報じられていますが、私たち人間でなければできないことがあるはずです。AI は、現時点では、意思や意見を持ちません。意思の「意」という字は、音の下に心と書きます。成り立ちは、音すなわち、ことばによって、心を伝えるということのようです。辞書にも「心、思い、望み、しようとする考えや気持ち」などと定義されています。

「意思」は、まさしく「自主・自律」を支えるものです。みなさんが豊多摩で培った主体性、自主性、積極性などは、AI が持ちえないものです。さらに言えば、AI の回答がすべての人にとって正しいとは限らないし、そもそも人生に模範解答などありません。正解かどうかは自分で判断します。AI は、入力された膨大な知識を有し、仕組まれたプログラムで思考、判断に似た動作をし、表現することができます。しかし、あくまでも他律システムであって、自発的かつ自由な判断を伴うことはないと言われていています。

2045 年、あとわずか 20 年ほどでシンギュラリティが到来すると言われています。5 年か

10 年だとする専門家もいます。技術的特異点、AI が人類を上回るとされる日です。まさか AI が人類を支配するようなことはないと思いたいですが、今まさに、私たちの生き方が問われているような気がしてなりません。

私たちは自ら行動し、人に何かを伝えあうという過程を通して何かを動かす、そして変化が生まれる。私は、そこに価値があると考えています。もちろん、私たちも変化の対象です。だから、自分の価値観に拘泥することなく、社会の変化を受け入れ、自分自身が変わることも恐れないでください。

皆さんをお迎えした 3 年前の入学式。

Challenge is your chance to change. チャレンジこそが変わるチャンスだ。3 つの ch を覚えていてくださいとお話したのを覚えていらっしゃいますか。豊多摩で思う存分、精いっぱい、意欲的にチャレンジすることができたでしょうか。

皆さんは、自発的で自由な判断ができる人として、ご自身の人生を切り拓いていってください。AI にはできないこと、あなたにしかできないことがあります。機械のように画一的であってはいけません。無色透明ではいけません。無難な対応は意味がありません。模範解答を出す必要はありません。人と比べて、自分が劣っているなどと考える必要は全くありません。なぜなら、皆さんはこれから、偏差値など、もはや無縁の世界に飛び込むことになるからです。

そこにあなたがいて、人と関わって、既成の枠にとらわれることなく、あなたの色を発揮し、柔軟に対応しながら新たな価値を創り出していく。それがあなたの価値です。**Creative**に！**Flexible**に！チャレンジし続けてください。

今日、ここで私が AI に負けないメッセージを皆さんにお届けすることができたかどうか、私にはわかりません。あるいは、AI の方がシンプルでよかったという人もいらっしゃるでしょう。でも、私はここ豊多摩で、皆さんと 3 年間で共有してきた校長として、言葉で気持ちを伝えることが私の責務であり、存在価値だと考えました。

ご列席の皆様、本日はご多用のところご来校いただきましてありがとうございます。こうして巣立っていく豊多摩の青年たちとともに見守り、育てていただきましたことに御礼申し上げます。保護者の皆様、改めてお祝いを申し上げます。高校を卒業して一区切り、また、法律的には成人となりますが、大人として歩み始めたばかりで、社会的自立はまだ先の話、支援が要らなくなったわけではありません。そのことを心に留めていただけたらと思います。

卒業生のみなさん、あなたにしかできないことがあります。そこにあなたがいて、人と関わり、柔軟に対応して新たな価値を創り出していってください。**Creative**に！**Flexible**に！限りなく広がるあなたの未来に限界などありません。

Touch the Sky!

令和 6 年 3 月 2 日

東京都立豊多摩高等学校長

枋倉 和則